

# おもしろ社会⑱ (歴史編)

## 平安時代(3)

問題 武士の登場について、( )に合う語句を□から

選んで書きましょう。



平安時代の終わりころ、貴族に代わって次第に大きな力をもち始めたのが武士です。都では、貴族を守るための警護役として、地方では、(ア )とよばれる土地を守るために、武装する人たちが現れ、武士となりました。武士たちは、やがて(イ )とよばれるリーダーを中心に武士の組織集団である(ウ )をつくり、力を強めていきました。平氏と源氏がその代表で、都を中心に勢力争いを起こすようになりました。はじめは、(エ )が率いる平氏が争いに勝利し、娘を天皇の后にすることで、政権をほしいままにしました。

武士でありながら、貴族のようにふるまう平氏に、東国の武士たちの不満はつのりました。平清盛が病死すると、伊豆に流されていた(オ )は、東国の武士を結集して、再び平氏と戦いに挑みました。1183年、倶利伽羅<sup>くりからとうげ</sup>峠の戦いに勝利した源氏は京都を制圧しました。一方、平氏は京都から逃れ、西へ西へと逃れて再起を図りました。

源氏は、(カ )のめざましい活躍により、1184年には一ノ谷の戦いで、1185年には屋島の戦いで連勝し、ついには、(キ )で平氏を滅ぼしました。これら源氏と平氏の戦いを(ク )といいます。

源頼朝

源平合戦

武士団

源義経

しょうえん  
莊園

だんのうら  
壇ノ浦の戦い

とうりょう  
頭領

将軍

関ヶ原の戦い

平清盛

木曾義仲

幕府

# 答え

問題 武士の登場について、( )に合う語句を□から選んで書きましょう。

平安時代の終わりころ、貴族に代わって次第に大きな力を持ち始めたのが武士です。都では、貴族を守るための警護役として、地方では、(ア <sup>しょうえん</sup> 莊園 )とよばれる土地を守るために、武装する人たちが現れ、武士となりました。武士たちは、やがて(イ <sup>どうりょう</sup> 頭領 )とよばれるリーダーを中心に武士の組織集団である(ウ **武士団** )をつくり、力を強めていきました。平氏と源氏がその代表で、都を中心に勢力争いを起こすようになりました。はじめは、(エ **平清盛** )が率いる平氏が争いに勝利し、娘を天皇の后にすることで、政権をほしいままにしました。

武士でありながら、貴族のようにふるまう平氏に、東国の武士たちの不満はつのりました。平清盛が病死すると、伊豆に流されていた(オ **源頼朝** )は、東国の武士を結集して、再び平氏と戦いに挑みました。1183年、<sup>くりからとうげ</sup> 倶利伽羅 峠 の戦いに勝利した源氏は京都を制圧しました。一方、平氏は京都から逃れ、西へ西へと逃れて再起を図りました。

源氏は、(カ **源義経** )のめざましい活躍により、1184年には一ノ谷の戦いで、1185年には屋島の戦いで連勝し、ついには、(キ <sup>だんのうら</sup> 壇ノ浦の戦い )で平氏を滅ぼしました。これら源氏と平氏の戦いを(ク **源平合戦** )といいます。

源頼朝

源平合戦

武士団

源義経

<sup>しょうえん</sup> 莊園

<sup>だんのうら</sup> 壇ノ浦の戦い

<sup>どうりょう</sup> 頭領

将軍

関ヶ原の戦い

平清盛

木曾義仲

幕府